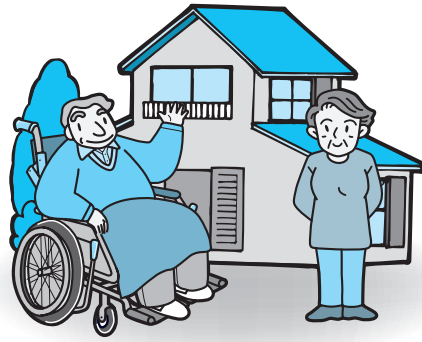


高齢者及び障害者住宅整備資金 の貸付利率を変更しました



市は、富士信用金庫と提携して高齢者及び障害者専用居室などを新築・増築・改造するために必要な住宅整備資金の貸し付けを行っています。
4月1日から貸付利率を変更し、さらに利用しやすくなりましたのでお知らせします。

平成24年4月1日申請分から
貸付利率1・1%
(平成24年3月31日まで1・7%)

●貸し付けを受けられる人

- ① 次のいずれかに該当する人
- ② 60歳以上の人
- ③ 身体障害者手帳1級から4級を交付されている人
- ④ 療育手帳Aを交付されている人 (同程度の人含む)
- ⑤ ①～③に該当する人と同居をしている、または住宅整備後に同居しようとする家族

●貸付限度額

最高 300万円

※前年収入の50%以下。

●償還期間

10年以内

※元利金など月賦償還とし、70歳になる前に償還完了すること。

●連帯保証人

2人(市内に住所を有する人)

※保証人がいない場合には、別途保証料がかかります。

★市の貸付審査のほかに富士信用金庫による審査もあります。

★貸し付けの開始時期は、工事が完了し、富士信用金庫との貸付契約を行った後になります。

問い合わせ 福祉総務課高齢者生きがい支援室

☎(55)2760 ☎(52)2290

24時間体制で空間放射線量の測定を開始

放射線モニタリングポスト を市役所に設置しました

■問い合わせ 環境保全課 ☎55-2774 ☎51-9854



市役所2階ベランダに設置されたモニタリングポスト

■市役所にモニタリングポストを設置

市は、空間放射線量測定のためのモニタリングポスト(大気中の放射線の量を連続して測定する据え置き型の装置)を市役所2階ベランダに設置しました。

モニタリングポストを使用することにより、これまでよりも高精度の測定を行うことができます。4月から、このモニタリングポストで24時間連続で常時監視をしていきます。結果は市ウェブサイト上で公表します。

■これまでの空間放射線量測定方法

昨年6月、ガイガーミュラー計数管を使用した簡易放射線測定器を用い、市内の公立小・中学校、保育園、幼稚園、公園など、計106地点で放射線量を測定しました。7月からは、よりガンマ線の検出効率の高いシンチレーション式測定器を使用し、市内を6ブロックに分けて、月に1回、ブロックごとに小・中学校、保育園、幼稚園、公園などの市関連施設で測定地点の選定をして測定してきました。

■これまでの空間放射線量測定結果

結果は下の表のとおりで、「文部科学省が目指す一般公衆の年間限度1ミリシーベルト以下(0.19マイクロシーベルト/時間)」を大幅に下回っています(屋外に8時間、屋内に16時間滞在する生活パターンを想定)。

市内放射線量の測定結果

(放射線量 単位: マイクロシーベルト/時間)

H23年度 測定地点	最小値			最大値		
	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm
6月	0.05	0.05	0.05	0.11	0.11	0.11
7月	0.028	0.028	0.024	0.061	0.062	0.061
8月	0.025	0.025	0.024	0.068	0.062	0.058
9月	0.024	0.023	0.023	0.062	0.063	0.064
10月	0.025	0.026	0.025	0.066	0.063	0.063
11月	0.018	0.027	0.026	0.056	0.055	0.059
12月	0.017	0.024	0.023	0.058	0.060	0.059
1月	0.025	0.027	0.024	0.054	0.057	0.058
2月	0.017	0.024	0.023	0.059	0.056	0.054

※測定地点は、地表面から5、50、100センチメートル。